

まちと中山間地の対流を加速させる杵築市の創蓄省エネルギー化構想

～100年住みたくなる めぐりめぐる 循環型のまち杵築の実現～

代表提案者

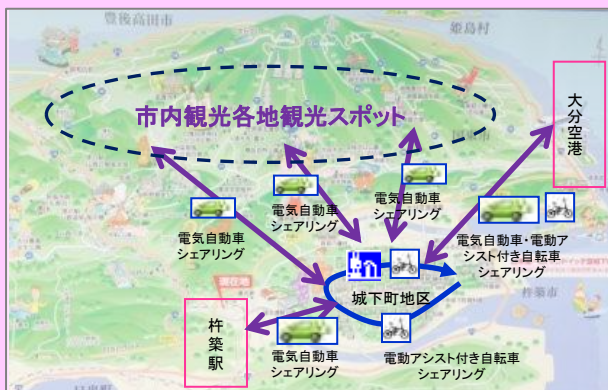
大分県杵築市

各地域や拠点・施設を低炭素なモビリティでつなぐとともに、交通結節点を整備することによって、市内外とのヒト・モノ・経済の対流を促進させ、市街地の活性化と中山間地の自立を目指し、杵築市の持続可能性を実現する。

LP1

観光都市杵築の魅力を増進させる
スマート交通推進プロジェクト

- ・サイクルシェアリングの導入
- ・電気自動車の導入
- ・その他付随サービスの導入

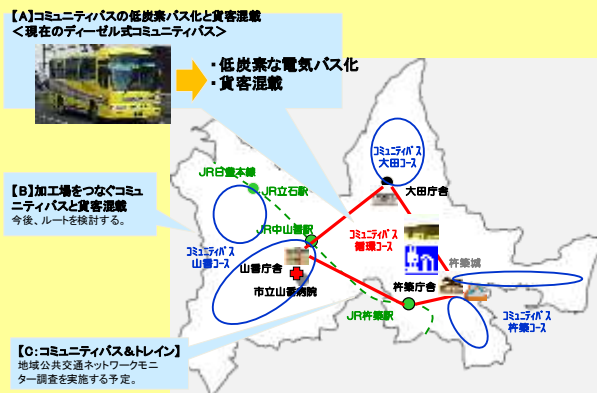


観光や拠点間移動のための電動アシスト付き自転車シェアリングの実施、市役所公用車の電気自動車化と休日におけるシェアリングの可能性など。

LP2

中山間地の生活を支える
コミバス革新プロジェクト

- ・コミバスの電気化
- ・コミバスの貨客混載化
- ・コミバス & コミトレの推進



中山間地の農家が産品の運搬に使用したり、高齢者の交通手段確保 & 宅酒に利用する貨客混載化(現代版の行商)。JRを巻き込んだ、コミュニティトレインの実施

LP3

観光・生活を支えるスマート・多機能型
道の駅整備プロジェクト

- ・創蓄省エネ機能 + 防災/避難所機能
- ・観光情報発信機能
- ・生活サービス & アメニティ提供機能 ほか



創エネと連動した電気自動車・自転車の充電設備の設置と防災機能の付与。ウォーム&クールシェアの拠点化。市内外との交通結節点として整備する。

- ・省エネをベースに、人やサービスの流れの集団化・双方向化することにより、公共交通や暮らしの低炭素化を目指す。
- ・交通網を見直し、市街地へのアクセス向上、中山間地等での生活サービス機能の維持を図る。